

第九回 with のマスター

1. 「～といっしょに」「～と共に」

- (ex) Jack works with his father.
ジャックは彼の父と一緒に働いている
- My husband got kind with age.
夫は年と共に親切になった
- I am [=agree] with you all the way.
私は全くあなたの案に賛成である
- The green curtains don't go with the red carpet.
その緑のカーテンは赤のカーペットと合わない

2. 「～を持った」「～を身につけて」【所有・携帯】

- (ex) I prefer the dress with the collar.
私はえりのあるドレスのほうが好きである

3. 「～で(もって)」「～のおかげで」【手段・原因】

- (ex) Bess tied the package with a yellow ribbon.
ベスはその包みを黄色いリボンで(もって)結んだ
- His hands froze with the cold.
彼の手は寒さで凍った

4. 「動詞 + A with B」型。

- ① 「AにBを与える」
(ex) provide A with B 「AにBを与える」
furnish A with B 「AにBを与える」
- ② 「AをBと結びつける」
(ex) combine A with B 「AをBと結び付ける」
associate A with B 「AをBと結びつける、関連させる」

【参考】

- (ex) He struck a ball with a bat. ☞このwithは、単に「～で(もって)」という「手段」を表しているだけ。
彼はバットでボールを打った

I visited the town with my wife. このwithは、単に「～と一緒に」という「同伴」を表しているだけ。
私は妻とその町を訪れた

5. with+O+C 構文。

- ①Oには名詞(代名詞なら目的格)が入る。
- ②Cには「形容詞」「分詞」「前置詞+名詞」「副詞」等が入る。
- ③OとCには、意味上「(OはCする【になる/である】)という主語と述語の関係」が成立している。
だから英文中で「with+名詞」の直後に「形容詞」「分詞」「前置詞+名詞」「副詞」があり、かつそれらと直前の「名詞」との間に「主語と述語の関係」を読み取ることができたらこの with O C 構文なのではないか、と頭を働かせること。

with + 名詞 +	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 5px;">「形容詞」「分詞」</div> <div style="margin-bottom: 5px;">「前置詞+名詞」</div> <div style="margin-bottom: 5px;">「副詞」</div> <hr style="width: 100%;"/> <div style="margin-bottom: 5px;">「述語」</div> </div>	: 「OがCの状態で」
[主語]		

(ex) with the ribbon flying in the wind 風にリボンをなびかせながら
【現在分詞】

with one's mouth full 口に食物を頬張った状態で
【形容詞】

with one's hands in one's pockets 手をポケットに入れた状態で
【前置詞+名詞】

with the tape recorder on テープレコーダーがオンになっている状態で
【副詞】 ⇨ テープレコーダーで録音しながら

with O C の文中でのうまい訳し方については **LESSON BOOK REVIEW Rule-37 5.** を参照してください。

6. 「～に関して」「～に対して」【関係・関連】

(ex) Something is wrong with this machine.
この機械(に関して)はどこか具合が悪い

The problem with computers is that they can cause health problems.
コンピュータに関する問題は、それらが健康問題を引き起こす可能性があることだ

7. 「もし～があれば」【条件】 ⇔ without～「もし～がなければ」

主節に「推量の助動詞(will[would], may[might], can[could])」があることが多いのが、この意味になる with の特徴です。

(ex) I would be able to move the stone with this machine.
もしこの機械があれば、その石を移動させられるのだが

8. 「with+抽象名詞」は副詞化する。

たとえば with に「カンタンさ、容易さ」という抽象名詞 ease がくっついて with ease となると、これは easily つまり「カンタンに」という副詞と同じ意味になります。以下にそんな、副詞1語と同じ意味になる「with+抽象名詞」の例をあげてみましょう。

①with ease	= easily	「たやすく、カンタンに」
②with difficulty	= barely	「やっとのことで、かろうじて」
③with success	= successfully	「首尾よく」
④with diligence	= diligently	「勤勉に」
⑤with kindness	= kindly	「親切にも」
⑥with care	= carefully	「注意深く」
⑦with rapidity	= rapidly	「素早く」
⑧with fluency	= fluently	「流暢に」
⑨with calmness	= calmly	「落ち着いて」
⑩with energy	= energetically	「精力的に」
⑪with reserve	= reservedly	「遠慮して」
⑫with warmth	= warmly	「暖かく」
⑬with vigor	= vigorously	「勢いよく」

9.その他

- ①with all A: Aにもかかわらず =in spite of A
=despite A
=for all A

(ex) With all his faults, I love him still.
欠点はあるけれど私はまだ彼を愛しています

With all his wealth, Mr. Brown is not happy at all.
あれだけの富がありながらブラウン氏は全く幸福でない

會ただし、「原因・手段」を表す with に「all+名詞」がくっついただけの with all～もあるので、そのあたりは区別ができるようにしておかないといけない。

(ex) With all this work to do, I have no idea when I will leave the office.
こんなにすることがたくさんあるので、いつ会社を出るかわからない

- ②with that: こう[そう]言って, こう[そう]やって

(ex) With that, my father left the room. 父はこう言って部屋を出て行った

- ③start[begin] with A: Aから始める

(ex) For background, you'd better start with the newspaper files.
背景を知るために新聞のファイルから(調査を)始めた方がいい

英文中での with の70%以上は以下の3つの意味のどれかになる。

- (1) 「~といっしょに」「~と共に」という with。
- (2) 「having~(~を持っている)」で言い換えられる with。
- (3) 「~で(もって)」「~のおかげで」、つまり「原因・手段」の with。

with 征服のための第一歩は、この3つの意味を覚えるところから始めよう。

Q. 次の英文を和訳せよ。

1. With the dense fog to help him, there was no danger that he was seen by anyone.

2. The lady greeted me with a smile.

3. During the operation, they had to communicate constantly with their eyes.

operation: (軍事)作戦

4. During my first stay in Japan, I was fascinated by the country, with all its undiscovered riches of language, literature, and tradition.

undiscovered: 未知の

5. Twenty years later, many people still thought of her as the little girl that America had always loved in the movies, but she had grown up to be an intelligent woman with knowledge of world problems.

【解答&解説】

1. 「濃い霧が助けてくれたおかげで、彼は誰かに見られる危険は全くなかった」

【解説】 文頭の with は「原因」を表しているとみて、「～のおかげで」と訳せばいい。
to help him は the dense fog を修飾している。文末の that 節は同格節で、
danger を修飾している。

2. 「微笑みながらその女性は私に挨拶をした」

【解説】 with a smile の with は「微笑みと共に」と考えればいい。

3. 「その作戦の間、彼らは絶えず目でもって意思を伝え合わなければならなかった」

【解説】 with their eyes の with は「手段」と判断し、「～でもって」と訳すといい。

4. 「最初の日本滞在期間中、私は言語や文学や伝統というこんなにも未知なる豊かさを持ったその国(日本)に魅了されたのだった」

【解説】 with all its ~ の with は having で言い換え可能な「～を持った」という意味。
with ~ tradition 全体が the country を修飾している。「with all A: Aにもか
かわらず」と勘違いしてはいけない。

5. 「20年後、多くの人たちは依然として彼女のことをアメリカ人が映画の中でずっと愛していた少女だと思っていた。しかし彼女は成長し、そして世界の様々な問題についての知識を身につけた聡明な女性になっていた」

【解説】 think of A as B は「AをBとみなす」。

📖 LESSON BOOK REVIEW Rule-26 8. を参照せよ。

grow up to be~(成長して、そして~になる) の to は結果の不定詞。

📖 LESSON BOOK REVIEW Rule-29 を参照せよ。

with knowledge~ の with は having で言い換えられる。「～を持った」と考えればいい。with ~ problems は woman を修飾している。